

2000年8月9日

【ゆどばたNo.8】

通院ボランティア通信

全腎協事務局作成

各地から猛暑の便りが聞かれますが、何とかこの暑さを乗り切りたいものです。

さて、全腎協では、12月2～3日に通院送迎ボランティア団体の交流会を開きます。コーディネーターさんや役員さんの意見交換を中心に、この事業の醍醐味・課題についても考えていきたいと思いますので、多くのみなさまのご参加をお待ちしております。10月頃にはご案内の予定です(各団体1名分は、全腎協から参加費が出ます)。

★ 団体紹介 ★

このコーナーでは、各団体の活動をご紹介します。12月の交流会に向けて、少しでも多くの団体をご紹介しますと思いますが、全団体はご紹介できないかもしれません。予めご了承下さい。

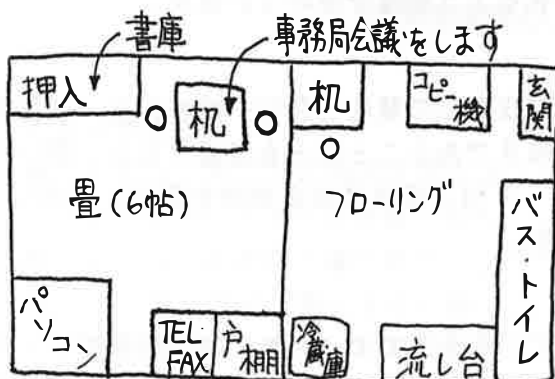
今号は、福岡県です。会報「ぜんじんきょう」などでもご紹介している「ステップ福岡」の横顔を見てみましょう。

ステップ福岡

事務局 落合さん



重松クリニック ↑



「ステップ福岡」の事務所

福岡の新しい
デパート
"ももち"へようこそ!



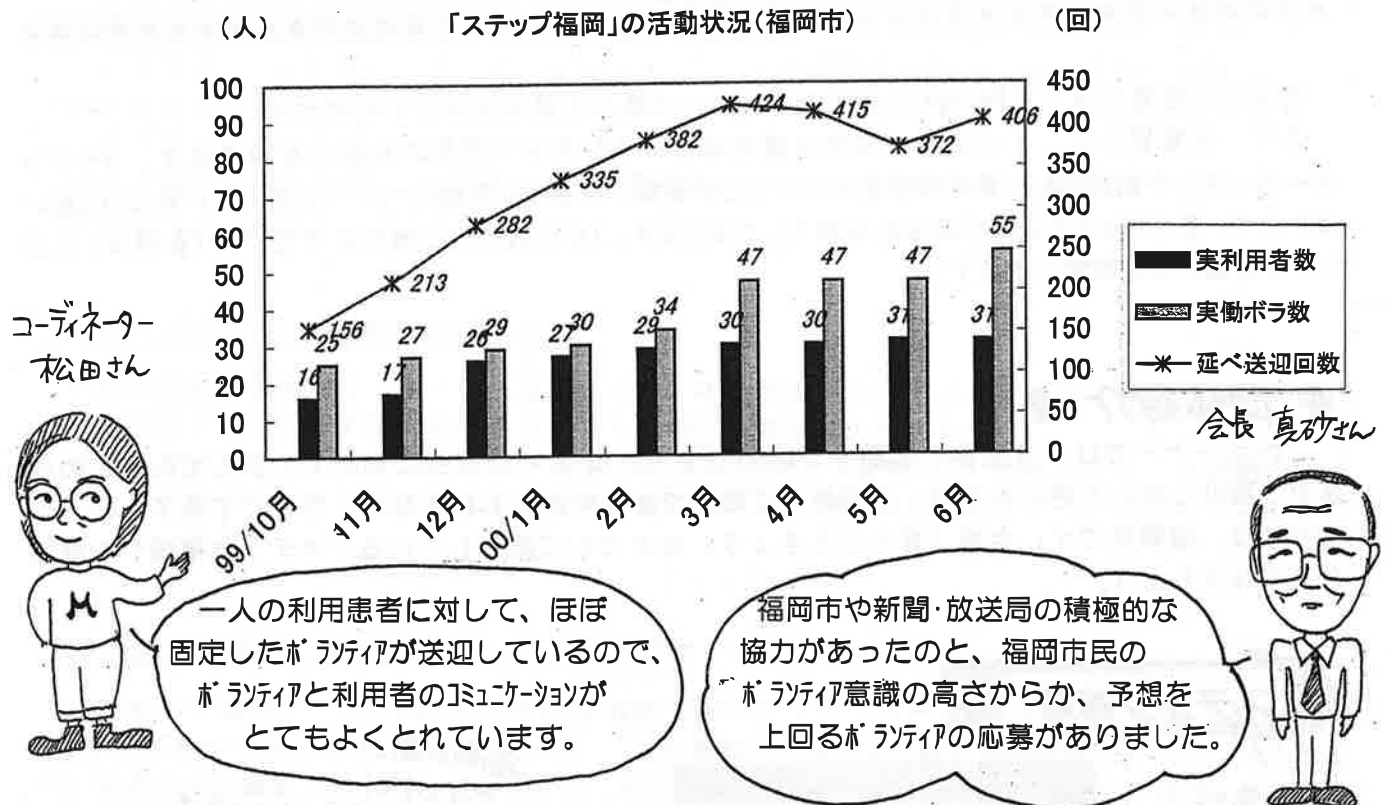
サザンコーディネーター
濱邊さん



<経緯>

福岡市腎友会（会員 1300 名）では、「要介護透析患者の実態調査」の結果、多くの患者が通院送迎支援を希望していることが分かりました。このため、家族の負担や経済的な負担を軽減しようという目的で、福岡市腎友会が主体となり、平成 11 年 10 月から送迎を開始しました。

<活動状況> 発足から 10 ヶ月、活動は順調に伸びています。



<今後の取り組み>

いまのところ、活動は順調ですが、今後の運営面では、資金面や規模の拡大などを始め、取り組むべき課題が山積しています。

①送迎規模と範囲の拡大について

現在は、原則として介護者を必要としない患者を利用対象者に実施しています。しかし、将来、利用患者は増加していくことは必至で、現在登録してもらっているボランティアでは足りなく、早急に募集していく必要があります。同時に、「ステップ福岡」としてお世話できる規模はどこまでかを見極めながら進めていきたいと思っています。

また、できるだけ早く、難病患者の通院や処方箋の受け取りなどを通して、透析患者以外への拡大を図りたいと考えています。車いす利用者の送迎もできるよう準備を進めています。

②運営資金について

事業開始時の福岡市腎友会会員のカンパ金や市内透析施設からの賛助金及び一般寄付金・運行寄付などで運営してきましたが、カンパ金、賛助金は 1 回限りであることなどを考慮すると、近い将来、資金面で困難が予想されます。このため、福岡市に対して引き続き補助金交付を要求しながら、同時に民間助成の団体にも積極的に支援を求めています。

③ボランティアの研修会・交流会実施について

ボランティアの資質を高めるための各種研修会を開いていく予定です。また、通院送迎ボランティアは一人で行う孤独な行為なので、ボランティアの横のつながりを深めるための交流会もできるだけ頻繁に実施していきたいと思っています。

「ステップ福岡」のしくみ



所在地	福岡県福岡市
実施団体名	福腎協・福岡市腎友会 通院送迎センター「ステップ福岡」
運営母体	福岡市腎友会
発足時期	1999年10月
サービス内容	ボランティアによる要介護透析患者の通院送迎(ドア・ツー・ドア)
送迎対象地域	福岡市及びその周辺
利用対象者	市内在住で自動車でなければ通院困難な透析患者
利用者負担	年会費／500円、運行寄付／1回につき300円
ボランティア構成	透析患者(7名)、退職者(及び妻)、主婦(子育て中)、現役タクシードライバー等
利用者構成	透析患者(視覚障害、歩行障害など、車いす利用者は無し)
スタッフ(コーディネーター)	コーディネーター3名、常勤役員1名
事務所	透析クリニックの一室
車両	マイカー
保険	ボランティア活動保険、送迎サービス補償制度、マイカーの任意保険
財源	運行寄付、会費、寄付金、民間助成金(財政規模は約200万円)
支出(経費)	人件費(食事交通費程度)、通信費・運搬費、保険料、備品費等
研修会など	年3回の研修・交流会、機関紙『ステップ福岡』通信の発行
協力団体	福岡県腎協

* 今年度は、社会福祉・医療事業団の助成金交付が決まったので、研修会開催と「ステップ」のポスター作成に充てる予定です。

＜基本的な流れ＞

- 利用者は、月ごとに利用希望日を「ステップ福岡」へ提出します。コーディネーターが調整をして、ボランティアに依頼します。
- 利用者は、利用時に運行寄付300円をボランティアへ渡します。
- ボランティアは、寄付を受け取り、150円をガソリン代として個人分に、150円を「ステップ福岡」への寄付として一ヶ月ごとに「ステップ福岡」へ納入します(持参か郵便振替)。
- ボランティアは、ボランティア報告書を一ヶ月ごとに「ステップ福岡」に提出します。

長崎県腎協と「すてっぷ福岡」に社会福祉・医療事業団の助成金交付！

社会福祉・医療事業団の『高齢者・障害者福祉基金』の平成12年度分を、「ステップ福岡」と長崎県腎協の「ほほえみ」が受けることに決まりました。

これまでに、「ふれあい大津」や「ジャスミン」、兵庫県腎友会阪神支部のほか、県腎協でも数カ所が助成を受けているこの助成金は、県の社協を通じて申込む民間助成金ですが、各県1団体以上は必ず交付を受けるので、助成の確率が高く、おススメの助成金です。

送迎実施団体の皆さまに、社会福祉・医療事業団を含む民間助成団体の資料を添付しましたので、ご活用下さい（資料1、2、3）。

研修・交流会で、充実した活動を！

上記の助成金を使って「ステップ福岡」では、年3回のボランティア研修会と宣伝・募集のポスターを作成するそうですが、やはり充実した活動に研修会は欠かせません。

送迎実施団体からお寄せいただいた研修会の実施状況と（資料4）、昨年10月に東京都内で開かれた、移送サービス団体の研修会の資料（資料5）を、同封いたしますので、活用していただきたいと思います。

小千谷市腎友会、愛称は「ラ・クーダ」です

新潟県小千谷市で、「小千谷市透析患者通院支援の会『ラ・クーダ』」が正式に活動を始めました（今年4月から試行）。「ラ・クーダ」は、「歳を重ねてもみんなが楽に通院できますように、水も飲まずに砂漠を歩む駱駝が連れだって帰るように」そんな願いを込めて付けられた名前です。患者、家族、小千谷総合病院、市社協などが協力して活動しています。

現在は、透析後の通院送迎を行っています。

ほほえみ佐世保、発足直前に「待った」？

去る7月23日に、長崎県佐世保市内で、長崎県腎協・通院介護支援センター「ほほえみ佐世保」の設立総会が開かれました。同県腎協では、既に「ほほえみながさき」をスタートさせており、「佐世保」が2番目になります。

ところが、「佐世保」の発足直前に長崎県陸運支局から“違法行為なので事業を取りやめるように”という電話がありました。「ながさき」設立時に、同支局と再三交渉し、“黙認”の形で承諾を得ていましたが、担当者の異動や、新聞記事を見た業界団体が、態度を硬化させたことが原因と思われます。

「佐世保」では、改めて話し合いの場を持ち、理解を得られるよう説明していく予定です。

（関連の新聞記事は資料6）

名簿を更新しました

新しい団体や変更箇所がありました。
会報の交換等にご利用下さい。

（この名簿は、毎回同封します）

